

## 地域ぐるみで取り組む防災・減災

災害発生時には、芦屋町をはじめ、警察・消防などの防災関係機関が全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・停電など様々な被害が広い範囲で起きた場合は、対応が非常に困難な事態が予想されます。このような場合には、地域ぐるみで協力し合い、助け合うことが大切になります。地域の自主防災組織を結成して、防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなどして、地域の防災力を高めましょう。

### 住民同士が協力して地域の防災力を高めよう

#### 自助

自分の命は自分で守る



#### 共助

自分たちの地域は自分たちで守る



#### 公助

町や県、国、防災関係機関が住民等を援助する



## 自然災害に備えて

災害時に最も頼りになるのは家族です。家族そろって防災について話し合ひましょう。

### ① 家族一人ひとりの役割分担

火の始末の係、お年寄りや乳児などの安全確保の係、非常持ち出し品の係など、家族一人ひとりの役割分担を決めましょう。

### ② 家族間の連絡方法

災害はいつ起こるか分かりません。災害用の居場所を伝える方法を考えましょう(災害用伝言ダイヤルの活用など)。

### ③ 避難所の確認

自宅、学校、勤務先から避難所への最も安全な経路と、家族全員が落ち合える場所を決めましょう。

### ④ 初期消火の方法を覚えましょう

消火器の置き場所や使い方を確認しましょう。

### ⑤ 家の内外の安全チェック

家屋の耐震化、家具などの転倒防止策、家の中や外の整理整頓をしましょう。

### ⑥ 非常持ち出し品・備蓄品のチェック

非常持ち出し品・備蓄品の食料や飲料水は賞味(消費)期限があります。定期的に確認しましょう。

### ⑦ 家庭内備蓄品は「ローリングストック」で

普段の食事に利用する食材を多めに常備して、製造日の古いものから消費し、消費した分を新しく買い足し、いざというときのために備える方法です。



## 非常持ち出し品を常備しておきましょう

食料兼備蓄品	救急・安全対策	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3リットルを目安) <input type="checkbox"/> 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など) <input type="checkbox"/> 携帯食(チョコレート、キャンディーなど) <input type="checkbox"/> 粉ミルク、哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合) 日頃から、3日分の食料と飲料水を、非常備蓄品として常備しておきましょう。	<input type="checkbox"/> 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) <input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、ばんそうこう <input type="checkbox"/> 傷薬、消毒薬 <input type="checkbox"/> 持病のある方の薬 <input type="checkbox"/> お薬手帳(処方箋の控など) <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん <input type="checkbox"/> 体温計、消毒液	<input type="checkbox"/> 現金(小銭も必要) <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 免許証など(身分を証明するもの)
衣類など	日用品など	
<input type="checkbox"/> 衣類(厚手の物と薄い物) <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> タオル、毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> ポリ袋(ビニール袋) <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ <input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備電池) <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備電池)	<input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器・バッテリー) <input type="checkbox"/> 筆記用具(油性マジック) <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 生理用品

## 大雨・洪水に関する注意報・警報について

福岡管区気象台からは、次のような場合に注意報・警報が発表されます。

大雨注意報	洪水注意報	大雨警報、洪水警報	大雨特別警報
大雨による災害(土砂災害や低地の浸水など)が発生するおそれがあるとき。	大雨、長雨などにより河川が増水し災害が発生するおそれがあるとき。	それぞれ重大な災害が発生するおそれがあるとき。	警報の発表基準をはるかに超える災害が予想され、危険性が著しく高まっているとき。

このほか、数年に一度程度の猛烈な雨が観測された場合には、気象台から、「記録的短時間大雨情報」が発表されます。土砂災害や浸水・洪水災害の発生につながる事態が生じていますので、警報の危険度分布や、避難情報を確認しましょう。

大雨などのときには、テレビ・ラジオなどにより最新の注意報・警報の発表状況を確認するようにしましょう。その他、NTTテレホンサービス「177」や気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/>)でも確認できます。※芦屋町に注意報・警報が発表される際の雨量基準値などについては、気象庁ホームページで知ることができます。

## 警戒レベルと避難情報

令和元年から、避難情報等や防災気象情報の意味を直感的に理解できるよう、5段階の警戒レベルに分類しています。さらに、令和3年の出水期頃から、避難情報等の名称を変更するとともに、とるべき行動も明確化されることになりました。警戒レベルに応じて、適切な避難行動をとりましょう。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	防災気象情報(気象庁が発表)	避難情報等(町が発令)
警戒レベル5	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保!	大雨特別警報	緊急安全確保※1
~~~~~警戒レベル4までに必ず避難!~~~~~				
警戒レベル4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	土砂災害警戒情報	避難指示※2
警戒レベル3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※3	大雨警報 洪水警報	高齢者等避難
警戒レベル2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報	
警戒レベル1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	

※1 災害の発生を把握できていない場合もあるため、警戒レベル5「緊急安全確保」は必ず発令されるものではありませんのでご注意ください。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令します。 ※3 高齢者等以外の方も危険を感じたら自主的に避難しましょう。

## 情報の伝達経路

町からの避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。積極的に情報を収集し、早めの避難を心がけましょう。

